

令和7年度 外交に関する国内世論調査

(RDD方式による電話法) 報告書

2026年2月

調査概要

- 調査方法

RDD方式による電話調査（固定電話と携帯電話の併用）

※RDD方式：無作為な数字の組合せの電話番号をコンピュータで生成する方式

- 調査対象

全国47都道府県に居住の18歳以上の男女

- 回収数

1000

※本報告書内の本年度結果ベースは、「全体（n=1000）」である。

以降、図ごとのベース規定は省略する。

- 調査期間

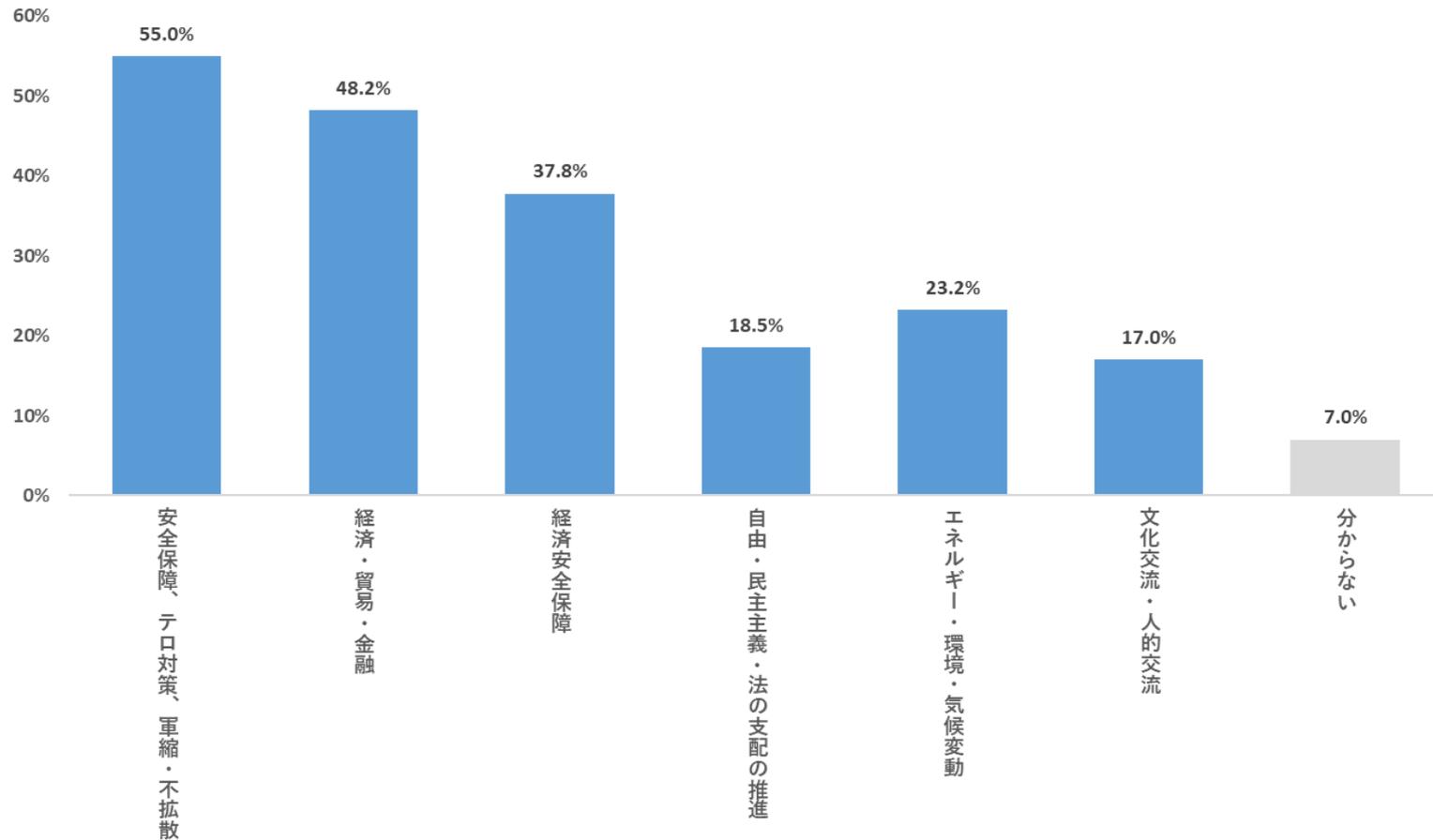
2026年2月10日（火）～2月18日（水）

- 調査委託先

株式会社ベネフィットジャパン

問 1. 【対米外交】

昨年10月、米国のトランプ大統領が訪日しましたが、今後どのような分野における日米関係の強化を期待しますか。(複数回答可)



問2. 【東アジアの安全保障環境】

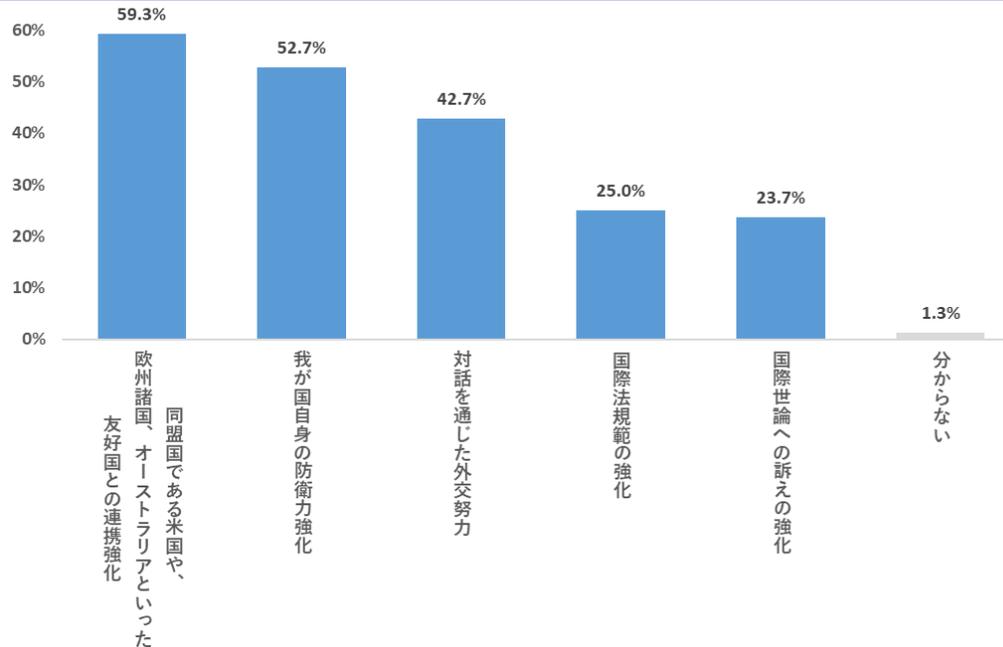
近年、東アジア地域の安全保障環境は一層厳しさを増していると考えますか。
(単数回答)

■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ 分からない



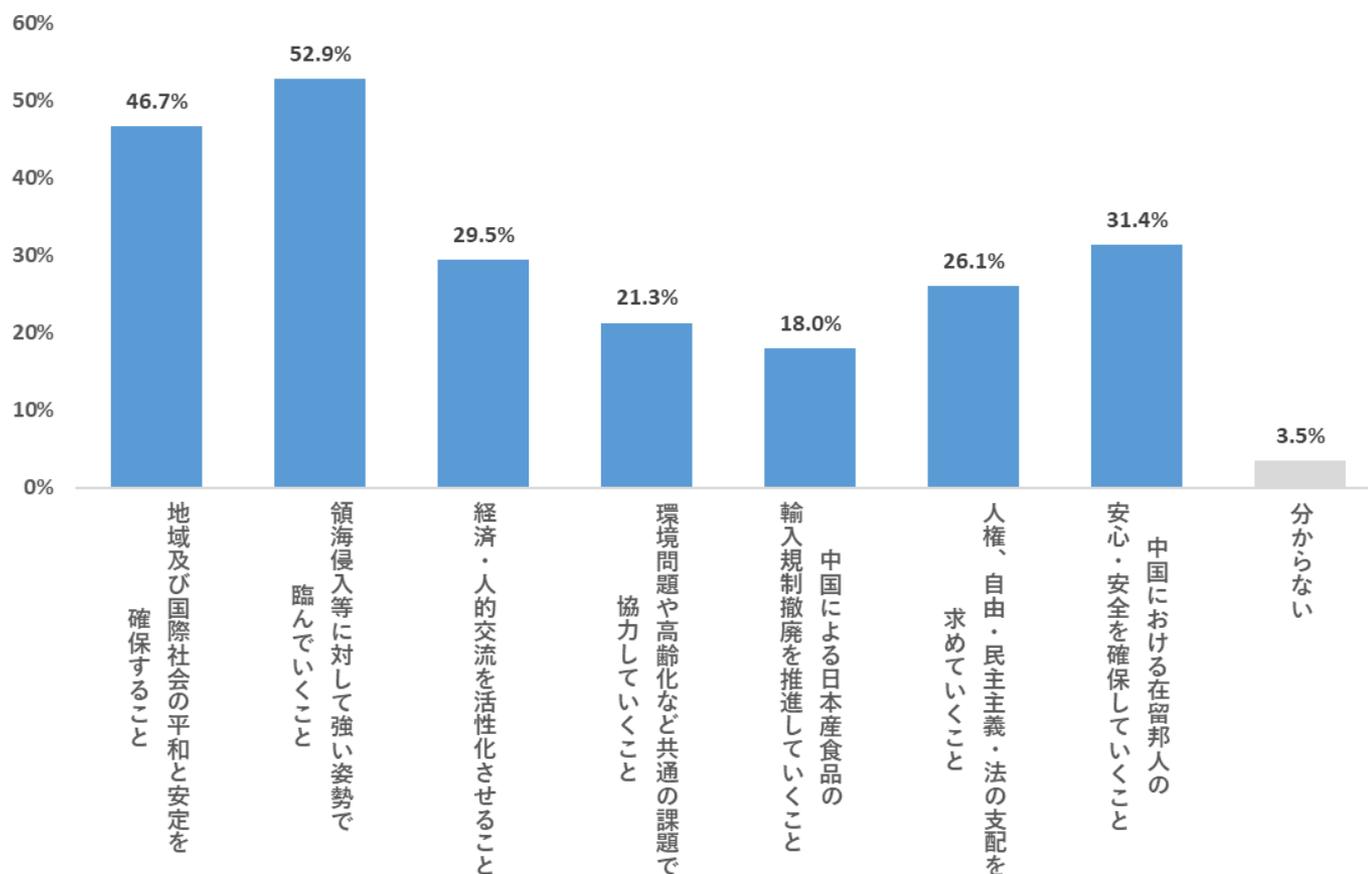
そう思う (とてもそう思う、ややそう思う) : 79.3% そう思わない (あまりそう思わない、全くそう思わない) : 16.3%

「そう思う」場合、東アジアの安全保障環境の悪化を食い止めるためには
どうすればよいと考えますか。(複数回答可)



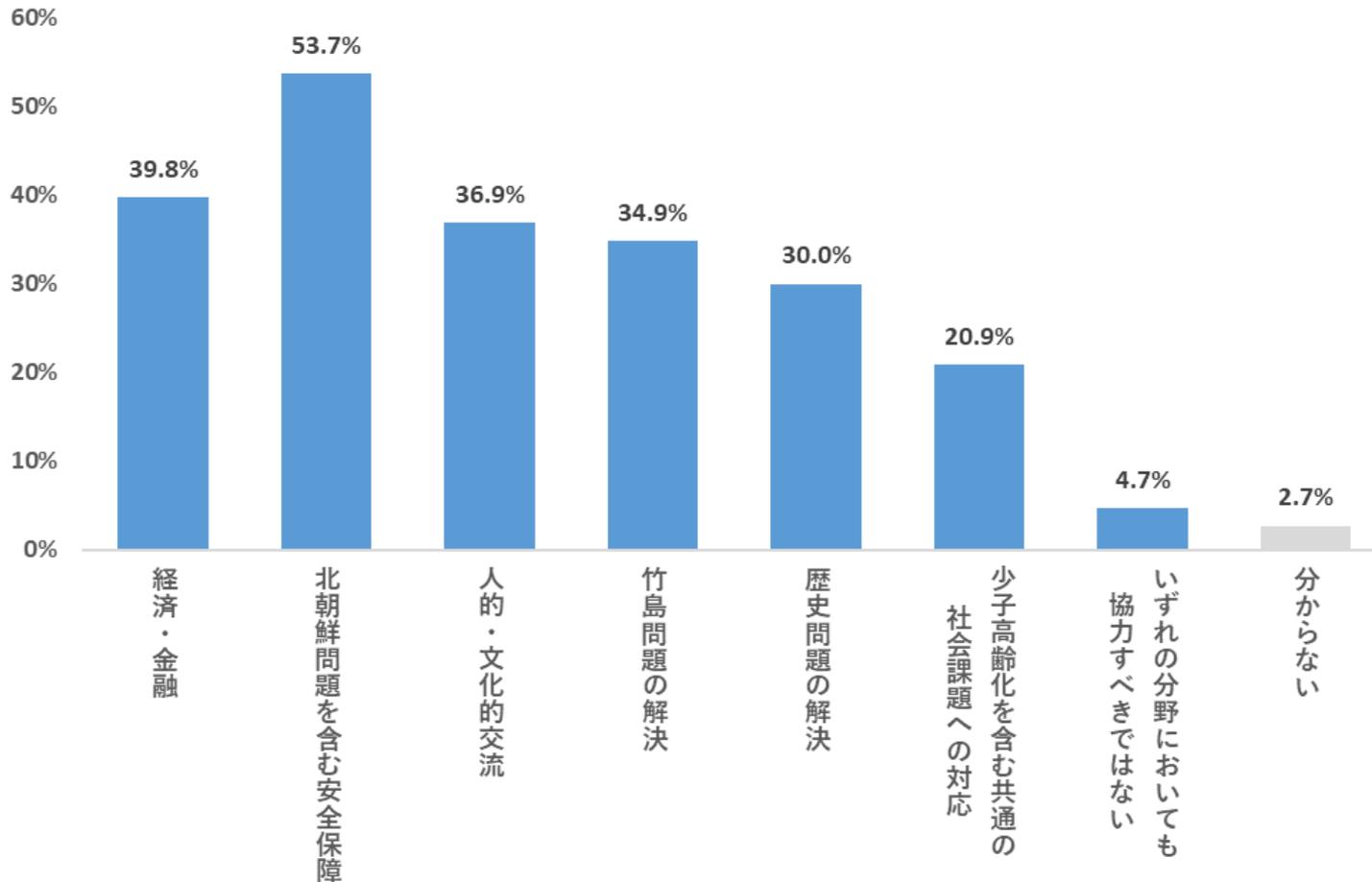
問3. 【対中外交】

日本と中国の間には、様々な可能性とともに、数多くの課題や懸案が存在しています。今後、日本の対中外交で、特に重視すべき点はどれだと考えますか。(複数回答可)



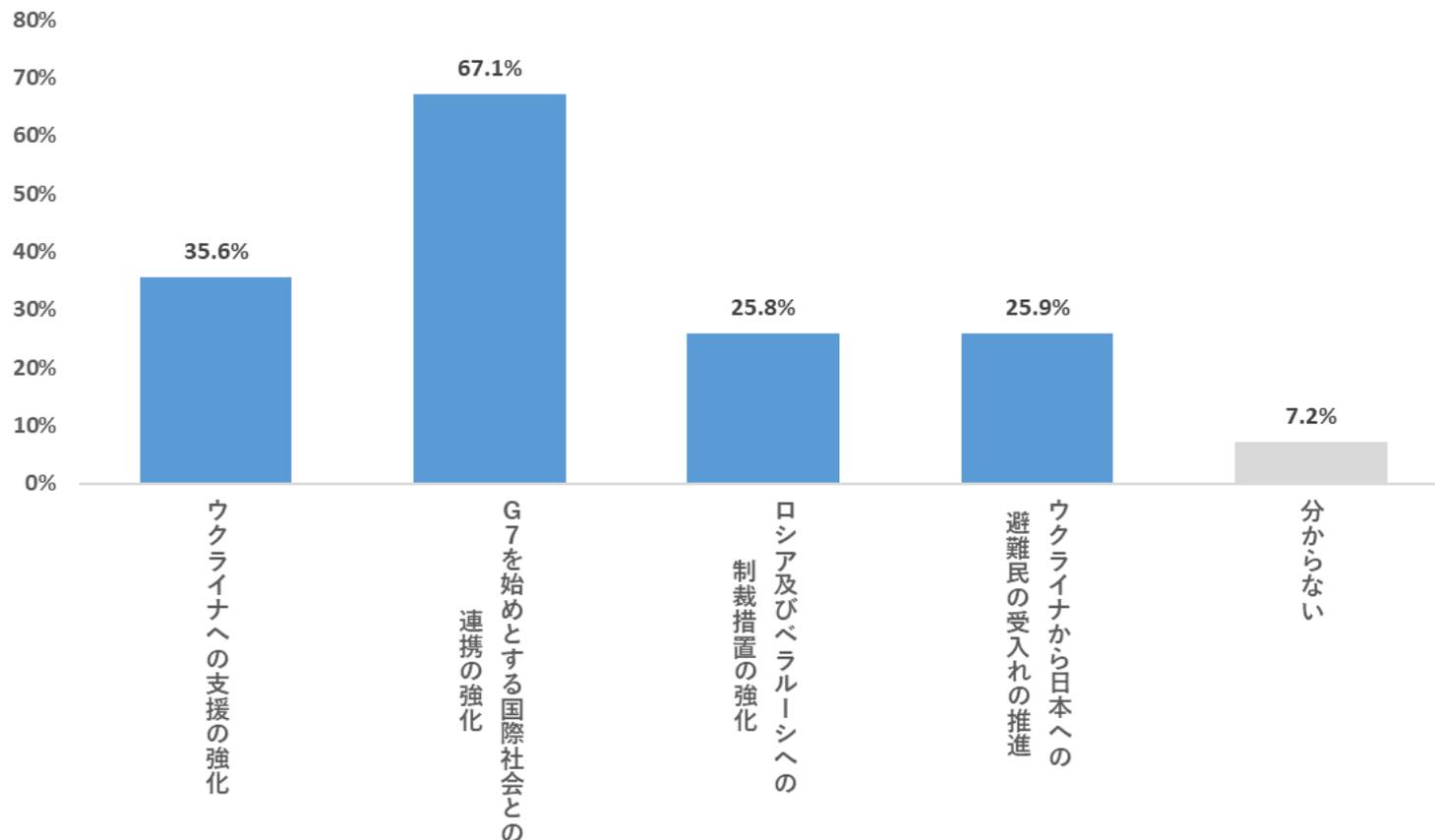
問 4. 【対韓外交】

日本はいかなる点で韓国との協力を推進すべきと考えますか。
(複数回答可)



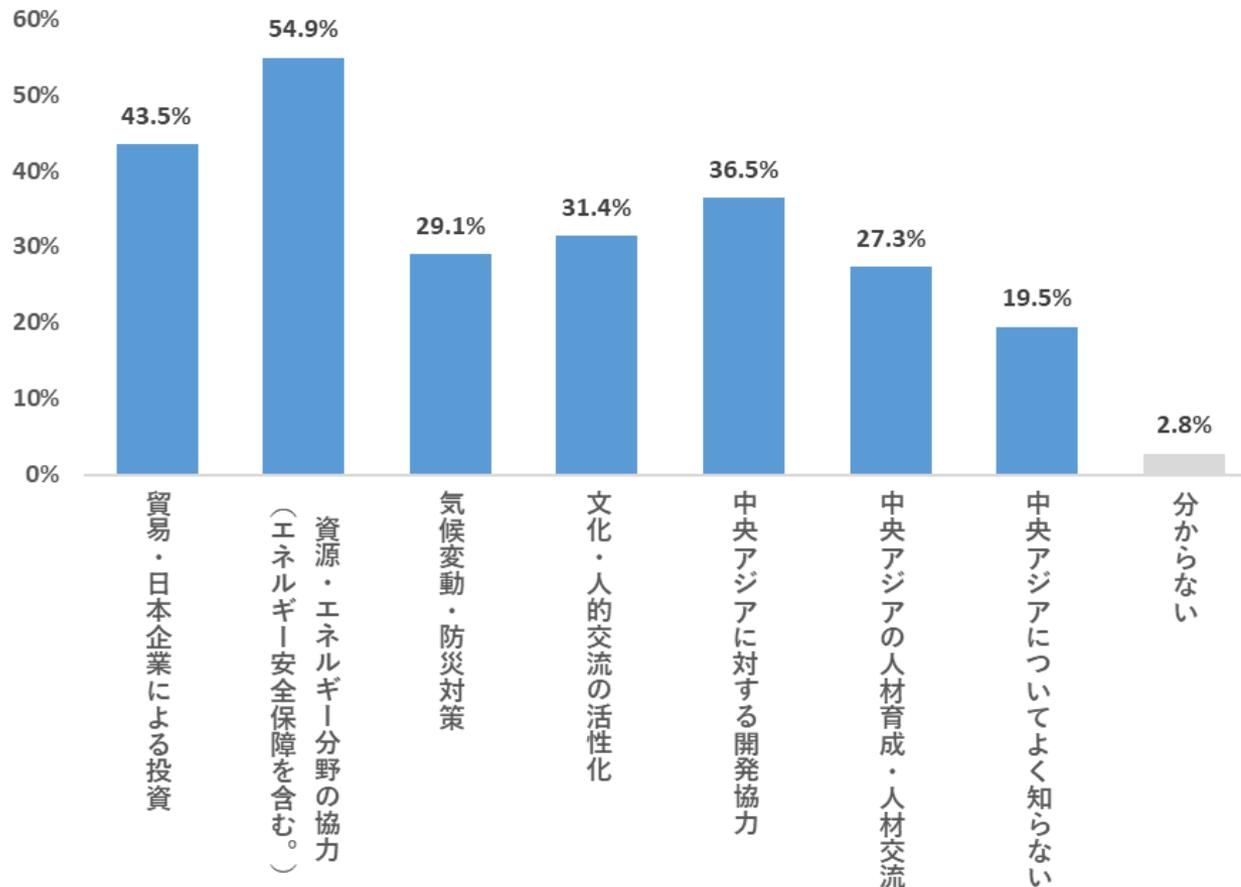
問5. 【ウクライナ情勢への対応】

ロシアによるウクライナへの侵略について、日本は、どのような政策分野に特に力を入れるべきと考えますか。(複数回答可)



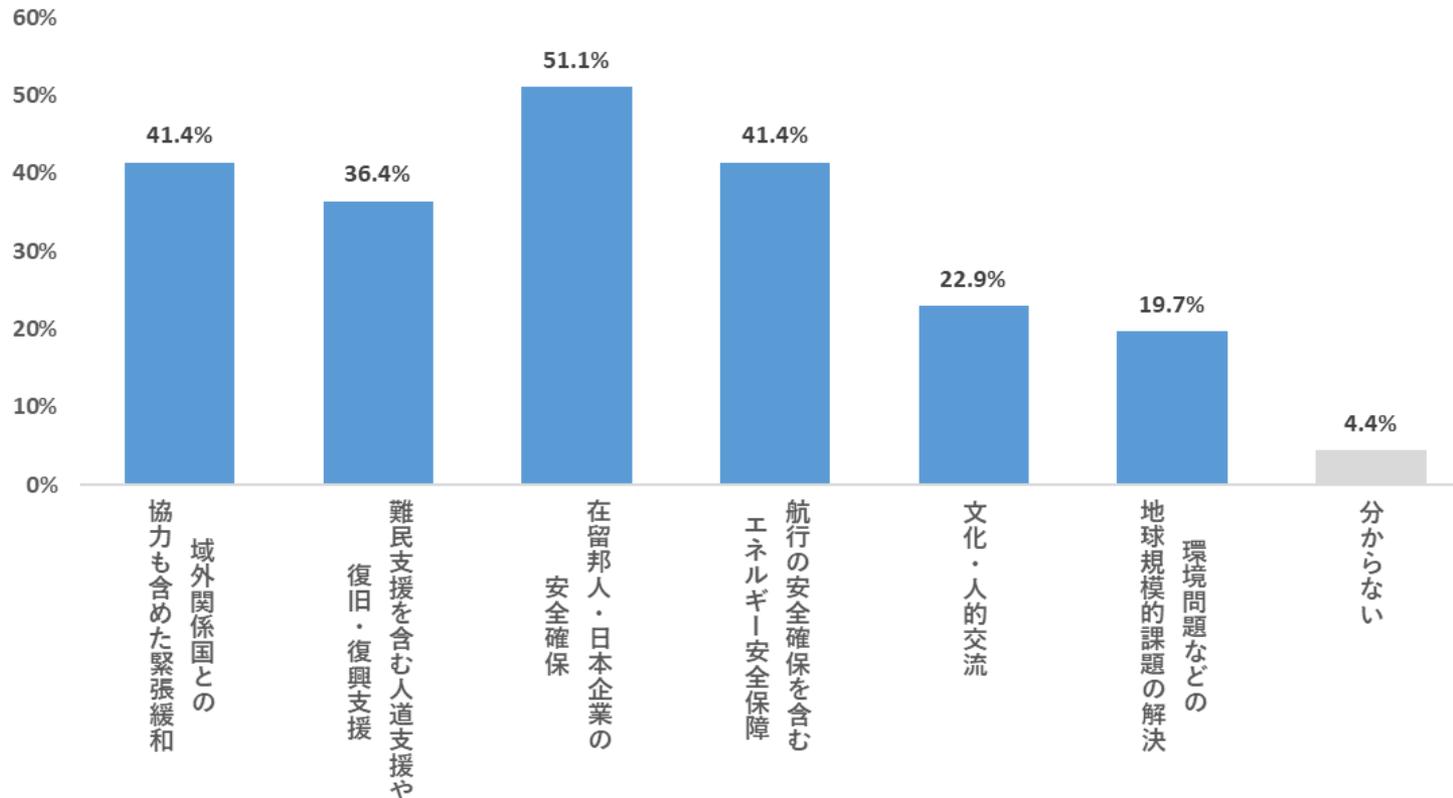
問6. 【対中央アジア外交】

昨年12月に初めてとなる「中央アジア＋日本」対話・首脳会合が実施されました。日本はいかなる分野で中央アジア諸国との協力を推進すべきと考えますか。
(複数回答可)



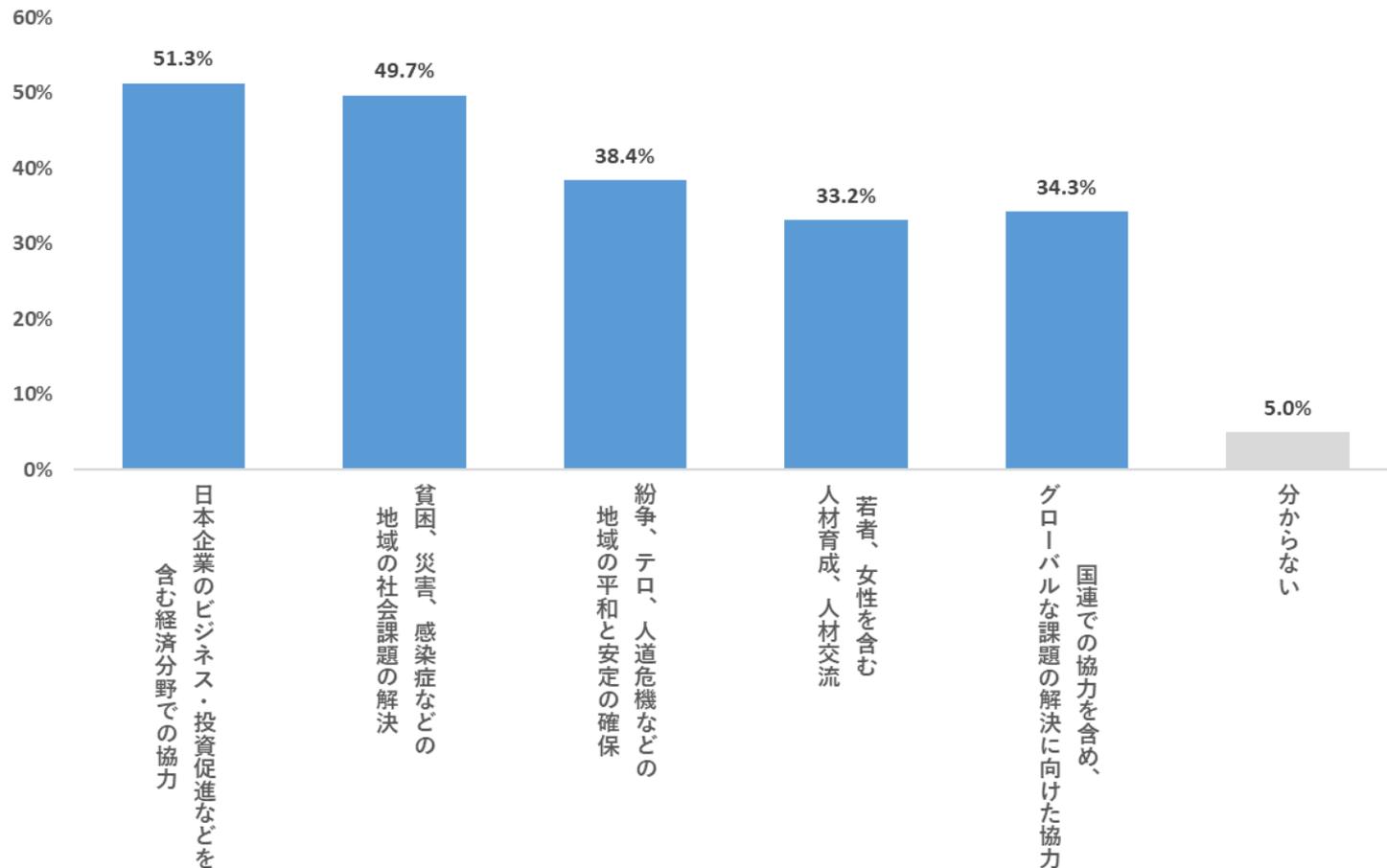
問7. 【対中東外交】

ガザ地区やイランを始め、中東地域全体で不安定な情勢が続いています。日本はいかなる点において中東への関与を推進すべきだと考えますか。
(複数回答可)



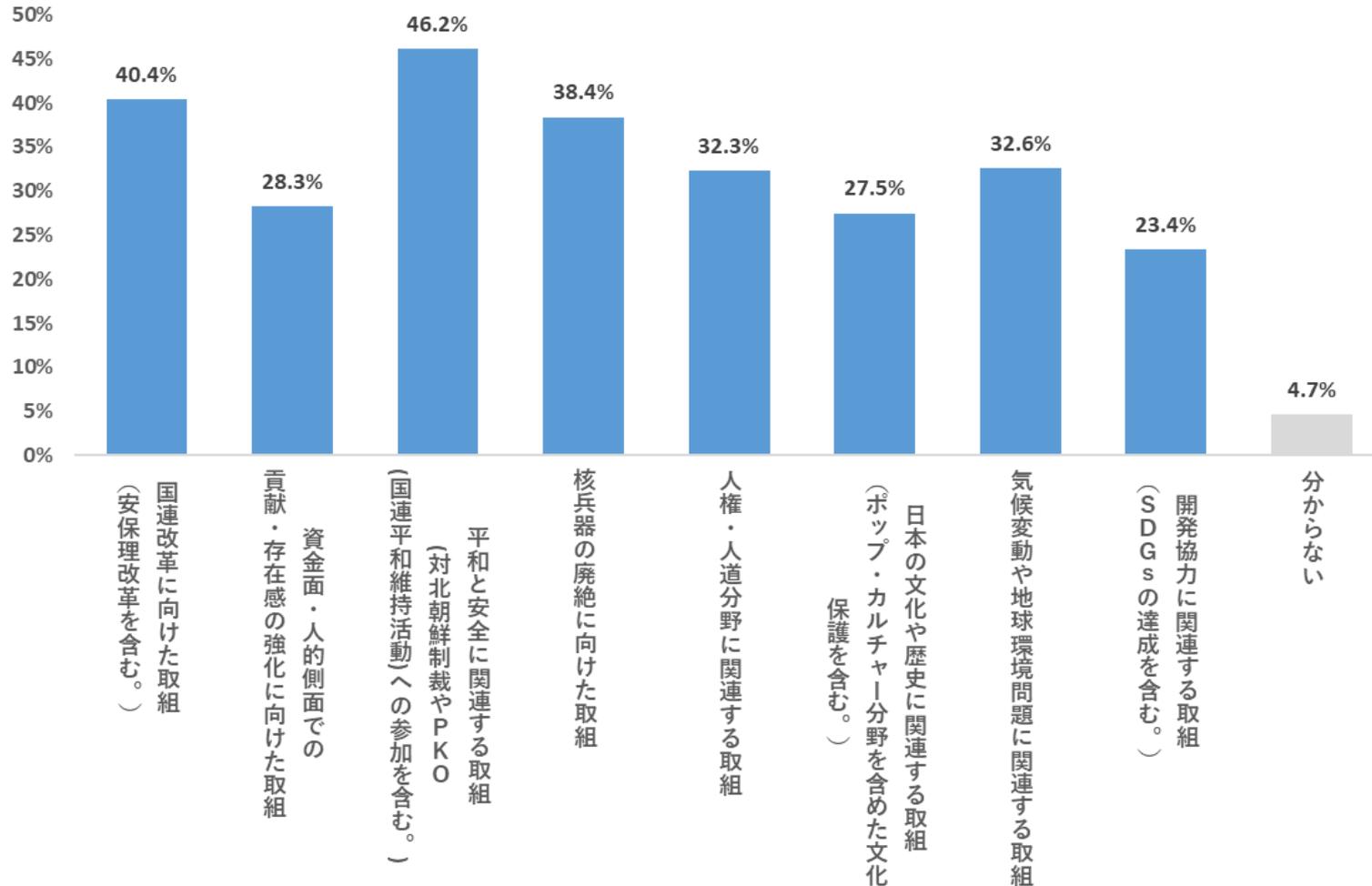
問8. 【TICADを含む対アフリカ外交】

日本は昨年、第9回アフリカ開発会議(TICAD9)を開催し、アフリカの開発のため幅広い分野で議論を行いました。今後、日本が対アフリカ外交において、より注力すべき点はどれだと考えますか。(複数回答可)



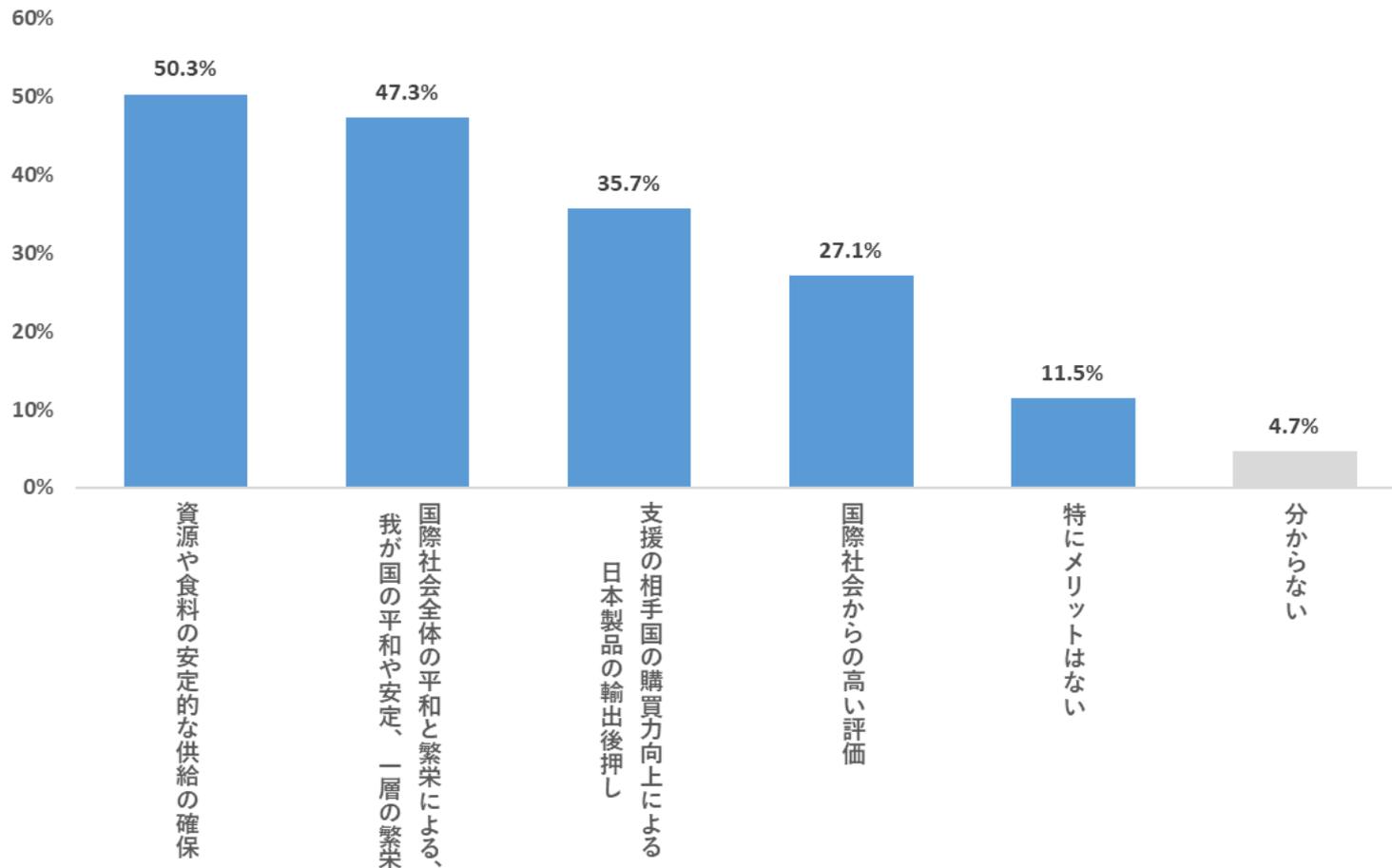
問9. 【国連外交（国連加盟70周年）】

国連外交のどのような点に力を入れるべきと考えますか。（複数回答可）



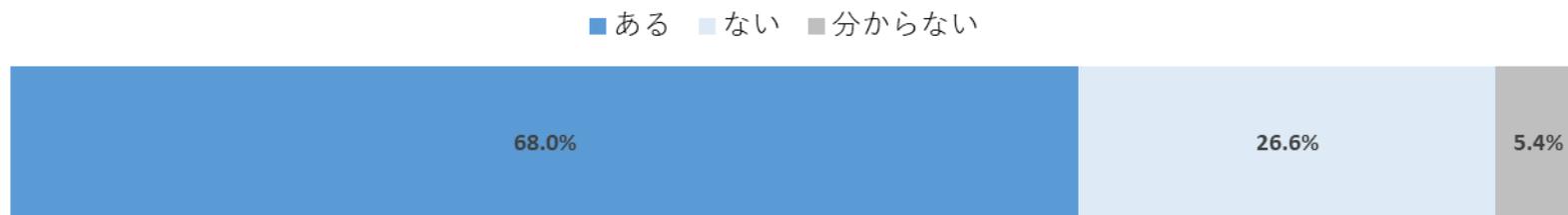
問10. 【ODA（政府開発援助）】

ODAによる海外への支援は、資源や経済活動を海外に依存する日本にとって、どのようなメリットがあると思いますか。（複数選択可）



問 1 1. 【外国からの情報操作】

国際情勢をめぐりオンライン上で偽情報が流布していると感じたことはありますか。
(単数回答)



「ある」と感じる場合、どのように真偽の確認をしますか。(複数回答可)

